

# エコマネジメント長野 企画振興部 環境方針

企画振興部は、「エコマネジメント長野 環境方針」、「長野県気候危機突破方針」等を踏まえ、省資源・省エネルギーの取組を徹底するなど、部の事業活動に伴う環境への負荷の低減に努めるほか、施策の推進に当たっても最大限環境に配慮し、持続可能な脱炭素社会の実現に向けて取り組みます。

## 1 事務の効率化の推進

- (1) 会議資料の簡素化や文書整理の習慣化、エシカル消費の推進など日常業務活動における環境負荷の軽減
- (2) 公文書管理システムの完全利用(電子決裁利用率が 100%)や、オンライン会議、ペーパーレス会議等による業務の効率化
- (3) ながのデジタルワークプレイス(NDW)の活用など、職員一人ひとりができることから効率的な働き方を推進

## 2 環境に配慮した事業の推進

- (1) 「長野県ゼロカーボン戦略」の観点を取り入れた施策の推進
- (2) 「長野県DX戦略」に基づく5Gなどのインフラ整備促進によるスマート自治体の推進
- (3) 環境と調和した交通システムの構築や、MaaSやCASEといった次世代交通システムの基盤づくりの促進  
(MaaS:運営事業者も異なる多種多様な交通手段を1つのサービス上に統合すること  
CASE:Connected通信機能、Autonomous自動運転、Shared&Serviceシェアリングサービス、Electric電動化)
- (4) SDGsの達成に向けた行動計画でもある「しあわせ信州創造プラン 3.0」の着実な推進
- (5) 各所属における環境関連法令等の遵守
- (6) 4R(リフューズ(不要なものは断る)、リデュース(ごみを出さない)、リユース(再利用)、リサイクル(再資源化))の推進

このほか、職員は日常生活においても、「信州プラスチックスマート運動」やエシカル消費の実践、自転車や公共交通機関の積極的な利用など、環境に配慮した取組を率先し実行します。

この環境方針は、部内の全職員に周知するとともに、広く一般にも公表します。

令和6年4月1日

長野県企画振興部長

清水 裕之